

— 教育実習開始！ —

7 月からこの教師生活を始めて、夏休みもあったせいか、あっという間に 9 月になりました。
9 月...

そう！ 恩師にさんざん迷惑をかけ、私自身もさんざん悩んだ**教育実習**です！

実際、臨時免許で教師をやっていることだし、教育実習はもういいんじゃない？！
な～んて、私を含め、職場の先生方も思っていました。

じゃあいいか！

いいわけないだろ！ 🙄

実習に行かなかったら、通常の免許が取れなくなってしまうです。👩

ということで、2 週間休みをもらうことになりました。

『そういえば会社にいた頃は、この 2 週間どうやって休むか、かなり悩んでいたよな...
でも今は、何も隠さず、堂々と職場に申請を出し、休みがもらえた...
こんなことなら 3 週間の実習にすればよかった...』
(↑ 心の中)

教員免許取得の際の実習期間は、

- ・高校の免許が 2 週間
- ・中学のみ、もしくは中高の免許は 3 週間(学校) + 施設実習 1 週間

元々私は高校に勤めたいと思っていたので、高校だけを取ればそれでよいと思っていました。
また、教育実習を決めたときはまだ会社員で、会社を 3 週間連続で休むことは何があっても無理だなとも思いました。

これらのことから、2 週間の実習の申し込み手続きをしました。
この手続きは、自分の大学と、実習受け入れ校に対する手続きです。
なので、今更 3 週間に変更することはできません。
まあ、仕方ないか...と思いつつ、勿体ないなとも思いました。
(後々このことがかなりのハンデになってしまったりして...👩)

とりあえず、2 週間しっかり勉強してこよう！

気持ちを新たに平成 18 年 9 月 4 日、母校に向かいました。
教員免許取得の最後の単位取得に向け、教育実習が始まりました。

朝、母校の職員会議で紹介されました。

教頭先生: 本日から 2 週間、教育実習にきました船田さんです。

ふな:夢を諦めきれず、どうしても教師になりたいくて教育実習をやらせていただくことになりました船田です。よろしくお願いします。

9月の実習は通常行っていないので、私だけです。
あっさりと紹介と挨拶が終わり、職員会議終了。
私の控え室として、パソコン室の準備室を用意してくださいました。
冷蔵庫^{冷蔵庫}もあり、水道^{水道}もあり、広くて快適そうです。
担当クラスは1年3組。指導教官が担任のクラスです。

早速自分の時間割の作成です。
指導教官に言われたことは、
「授業は研究授業を入れて3〜4時間やってもらいます。その他は教材研究と授業見学を半分くらいずつにしたらいいのではないのでしょうか。」
と。

言われるがままに時間割を作り提出。
とりあえず教科書を借りてきて教材研究。。。

つまらん！

教材研究は家で一人ででもできるじゃないか！
この貴重な2週間、これじゃあもったいない！

と言うことで、提出した時間割上は「教材研究」の時間も授業見学に行っちゃいました。
こういう機会でないと、他の先生方の授業を見学することってほとんどないんです。
だから、ここぞとばかり、盗めるものは盗む！と言う気持ちで実習にきました。
ですので、必然的にメモを取ることも多くなります。
実習が終わったらまた勤務校での授業があります。そこで少しでも活かせるように、できるだけ書き留めておきたかったんです。
すると、国語科の先生の間で、

メモ魔

と言われるようになっていました。
実習生はたくさんきているけれど、あんなにずっとメモを取っている人っていないよ、と言うのです。
なんともったいない・・・こんなチャンスを逃すわけにはいかないじゃないですか！

私の実習ノート(大学から支給されたノート)は規定の枠内に書ききれず、レポート用紙に書いたものを張り付けるほどになりました。
自分でもすごい量だな、と思いました。
実習ノートは毎日の授業見学の感想、一日の反省を書きます。それを指導教官に提出し、コメントを頂きます。実習が終わったら大学に送り、評価をもらいます。
このノート、実は今でも時々頼って見えています。

結構ヒントになったり、問題解決に役立ったりするんです。

実習はあっという間に時間が過ぎました。そして研究授業がやってきました。

研究授業とは、教育実習の成果を、実際に授業を実施し、いろいろな先生方に見ていただいて評価を頂くものです。

私は漢文をやらせていただきました。今でも覚えています。『鶏鳴狗盗』でした。

授業が始まる前、指導教官がビデオカメラ📷をセットしてくださいました。

チャイム🔔がなり、授業が始まる頃には教室の後ろに入りきれないくらいの先生方がみえました。

教頭先生を始め、国語科の先生ではない先生もみえています。

こんなに大勢の先生方に見られる授業、初めてです。緊張しました。

しかし、授業が進んで行くうちに、いつものことなのですが生徒と授業をやっていることに夢中になって、他のことはどうでも良くなっちゃうんです。

この日もどうでも良くなりました。授業が楽しくて、生徒とやりとりすることが楽しくて。

でも、こういうときの生徒って優しいんです。

いろいろな意味で私を助けてくれようとするんです。

この母校の後輩達のおかげもあり、無事研究授業を終えることができました。

研究授業に対する先生方のコメント、とてもありがたいものでした。

こういう時って、私は褒められるよりも駄目だしをして欲しいんです。

褒められてもそこで終わってしまいます。しかし、駄目だしをされればそこに注意してこれから授業ができますから。

このコメントもしっかり実習ノートに記録してあります。

そして実習最終日、この日は国語科の授業だけではなく、お世話になった1年3組の授業を全部見学させてもらおう！と思い、朝からずっと1年3組にいました。国語の時間は時間をもらって、私の夢に対する思いを話しました。最後の時間は体育でプールでした。私は泳げないのでプールサイドで見えていました。

最後のチャイム🔔がなりました。

終わった～、というより、おわってしまった・・・と言った方がいいでしょう。

とても淋しい気持ちになりました。

ぼ～っとしていると、

「先生、教育実習2週間お疲れさまでした！ありがとうございました！」

と、1年3組の生徒達が言ってくれました。

感動🥹

こうして無事、教育実習を終え、勤務校に帰っていきました。